写真提供：髙橋 憲正

おはなし、実演、体験…
内容の濃い90分だ～

能を少し見慣れた方のための

能楽体験ワークショップ

シテ、ワキの違いと役割

2025.11.1(土)

13:30～15:00 (開場13:00)

講師：**髙橋 憲正** （シテ方宝生流）、**渡貫 多聞**（ワキ方下掛宝生流）

定員 20名
参加無料

シテとワキは切っても切れない関係。
そんな両役の違いや役割について学べるワークショップを開催！
講師によるおはなしや、謡や所作の実演に加え、
シテとワキの違いが楽しめる体験も予定しています。
ぜひご参加ください！

写真提供
（公社）金沢能楽会

会場・お問合せ
石川県立能楽堂（月曜日休館）
〒920-0935　金沢市石引4-18-3
・FAX　076-264-2598

シテとワキって、どういう関係？

その答えを見つけよう！

シテが最初に舞台で対峙し、一曲を通してやり取りをするワキ。互いに舞台でどのようなことを求めているのか、相手がどのように見えているのかなど、演者の目に映るそれぞれの姿や関係性についてお話しします。また、同じ立方でもそれぞれに特徴がある扇の持ち方や所作、謡の節の違いについて実演を交えながら解説するほか、講師の指導のもと謡や「祈リ」の所作の体験を予定しています。このワークショップに参加すれば、能への理解が深まること間違いなし！ぜひご参加ください！

主な内容

・各役、流派の特徴
・動き(所作)の違い
・謡い方や節の実演解説と体験
・座り方(下ニ居)体験
・「祈リ」の実演と体験

講師紹介

髙橋 憲正（シテ方宝生流）

1976年、髙橋右任の長男として生まれる。父及び十八世、十九世、現二十世宗家に師事。1981年「鞍馬天狗」子方にて初舞台。2004年「草薙」にて初シテ。これまでに「石橋」、「道成寺」、「乱」、「翁」等を被演。同門会・憲宝会を主宰し、小学生から大人まで幅広い年代層に仕舞と謡の指導を行う。現在は、宝生流の定期公演をはじめ、出身地金沢の石川県立能楽堂の出演や、金沢能楽美術館の企画への参加などを通して金沢宝生の普及にも努める。重要無形文化財総合認定保持者。

渡貫 多聞（ワキ方下掛宝生流）

1995年生まれ。新潟県十日町市出身。金沢大学宝生会での活動を通じてワキ方を志す。故殿田謙吉、現十三世家元宝生欣哉に師事。2018年「小鍛冶」大臣にて初舞台、2020年「鍾馗」にて初ワキ。現在は、石川県立能楽堂のほか県内外の舞台出演を通して活動の幅を広げる。

♦お申込みについて♦

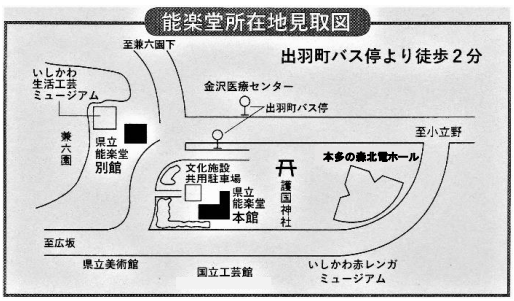
電話、メールにて受け付けています。
メールの場合は、以下の項目を明記のうえお申込みください。

①氏名(ふりがな) ②電話番号
③白足袋の有無(お持ちでない方は足のサイズも記してください)

※複数人で参加を希望される場合は、全員の氏名を明記してください
※白足袋をお持ちでない方へは当日貸出も行います
※定員に達し次第締め切ります

会場・お申込み・お問合せ

石川県立能楽堂（月曜日休館）

〒920-0935　金沢市石引4丁目18番3号
TEL・FAX：076-264-2598
E-mail：noh@pref.ishikawa.lg.jp
ホームページ：https://noh-theater.jp/
公式X(旧Twitter)でも情報発信中！

ホームページ　公式X(旧Twitter)